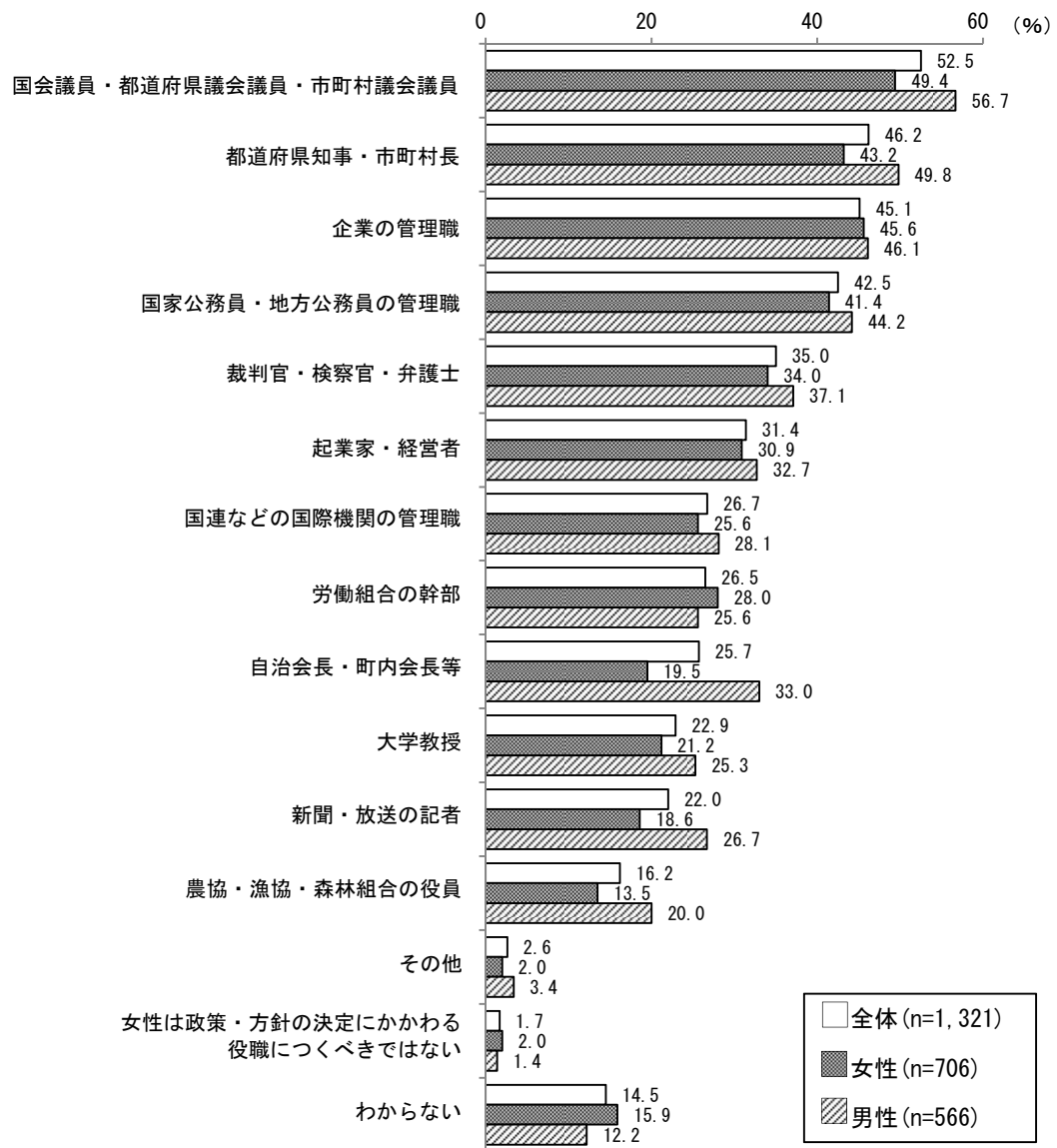


### 3. 女性の参画について

#### (1) 今後女性が増える方がよいと思う役職

問7 次にあげるような政策・方針の決定にかかわる役職において、今後女性が増える方がよいとあなたが思うものをすべてお答えください。(〇印はいくつでも)

【図表 7-1 今後女性が増える方がよいと思う役職】



◆女性が増える方がよいと思う役職は「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高い  
 今後女性が増える方がよいと思う役職について、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が52.5%と最も高く、次いで「都道府県知事・市町村長」(46.2%)、「企業の管理職」(45.1%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高くなっており、男性(56.7%)が女性(49.4%)を7.3ポイント上回っている。

<性・年齢別>

男性 20 代、30 代を除くすべての年代で「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高くなっている。また、男性 20 代、30 代は「都道府県知事・市町村長」が最も高くなっている。

【図表 7-2 今後女性が増える方がよいと思う役職（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	56.5	企業の管理職	46.8	都道府県知事・市町村長	43.5
	30代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	41.7	都道府県知事・市町村長	39.8	企業の管理職	37.9
	40代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員		53.6	都道府県知事・市町村長		52.8
		企業の管理職					
	50代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	54.5	企業の管理職	51.5	都道府県知事・市町村長	47.8
60歳以上	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	46.4	企業の管理職	41.5	国家公務員・地方公務員の管理職	40.4	
男性	20代	都道府県知事・市町村長	48.6	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	42.9	企業の管理職	40.0
	30代	都道府県知事・市町村長	56.3	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	53.1	国家公務員・地方公務員の管理職	42.2
	40代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	57.0	都道府県知事・市町村長	50.6	企業の管理職	40.5
	50代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	59.1	企業の管理職	55.9	都道府県知事・市町村長	53.8
	60歳以上	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	58.1	国家公務員・地方公務員の管理職	48.9	都道府県知事・市町村長	47.1

<地域別 1>

すべての地域で、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」は5割程度で最も高くなっている。

【図表 7-3 今後女性が増える方がよいと思う役職（地域別 1）】

(単位:%)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	55.4	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	48.8	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	54.0
2位	都道府県知事・市町村長	50.0	企業の管理職	42.8	企業の管理職	47.2
3位	企業の管理職	46.3	都道府県知事・市町村長	42.4	都道府県知事・市町村長	45.3

<地域別 2>

いずれの地域も、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が5割程度で最も高くなっている。中山間地域全域指定市町村は「国家公務員・地方公務員の管理職」、それ以外の市町村は「都道府県知事・市町村長」が2位に入っている。

【図表 7-4 今後女性が増える方がよいと思う役職（地域別 2）】

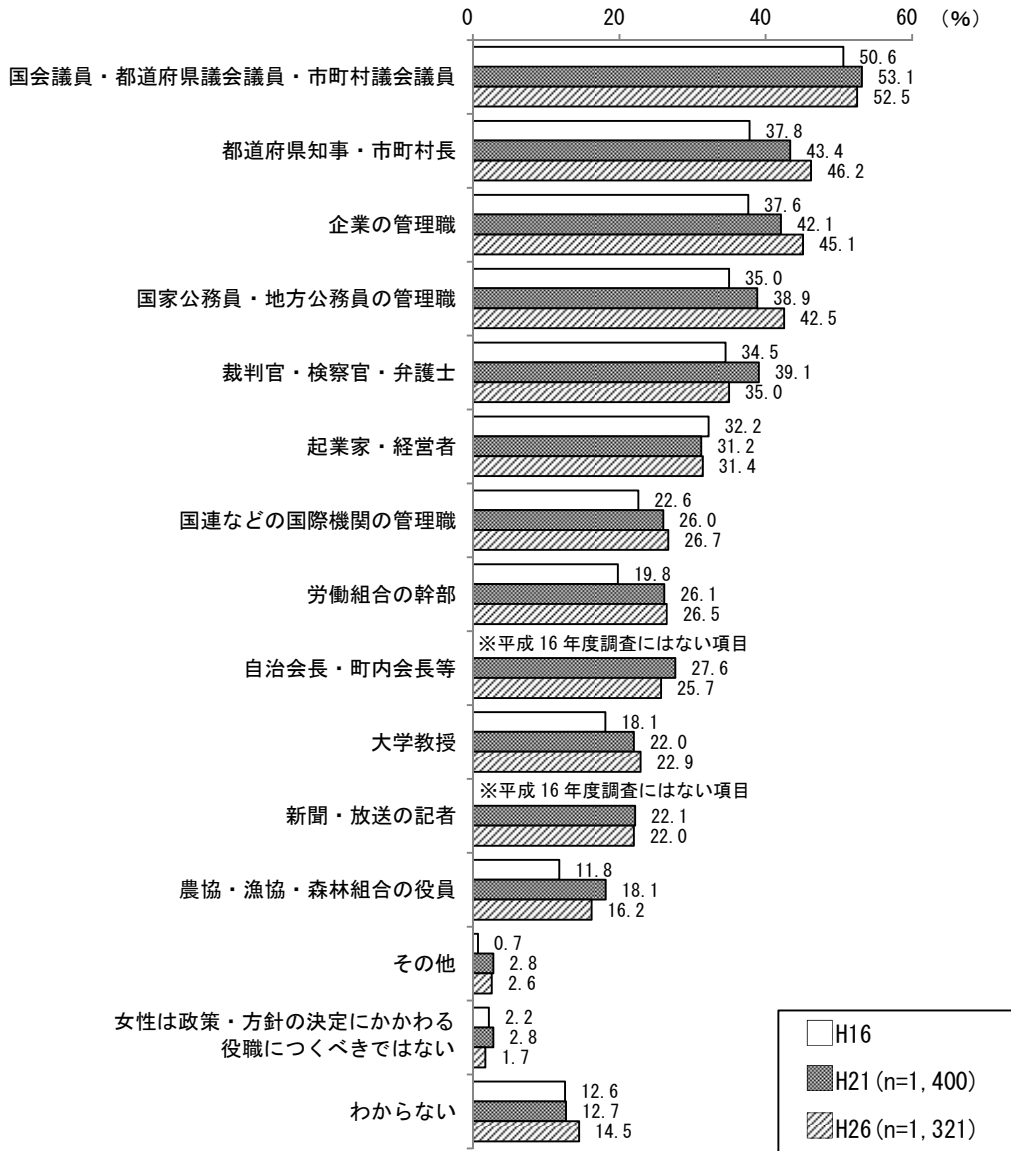
(単位:%)

	中山間地域全域指定市町村		それ以外の市町村	
1位	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	52.7	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	52.5
2位	国家公務員・地方公務員の管理職	43.9	都道府県知事・市町村長	47.5
3位	企業の管理職	43.5	企業の管理職	45.3

<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、前回に引き続き、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高く、次いで「都道府県知事・市町村長」、「企業の管理職」などの順となっている。また、「裁判官・検察官・弁護士」は4.1ポイント低下している。

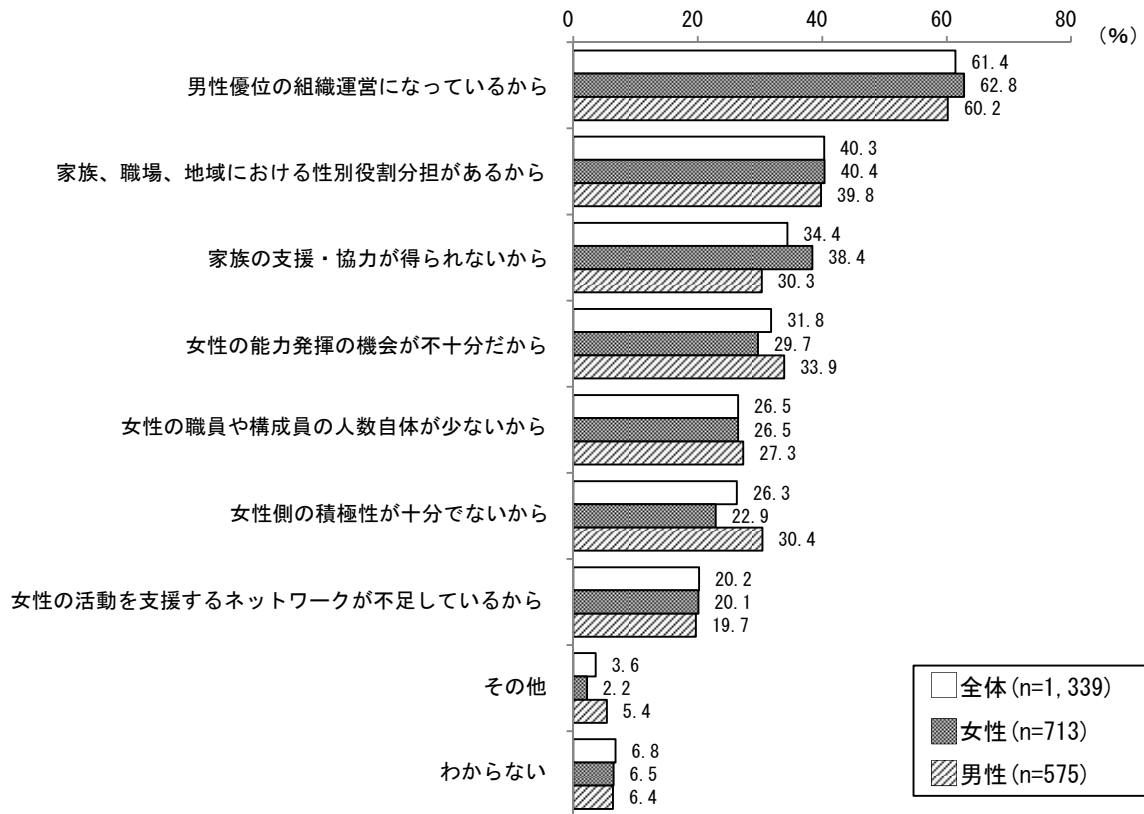
【図表 7-5 今後女性が増える方がよいと思う役職（前回調査との比較）】



(2) 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由

問8 あなたは、問7にあげたような政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由は何だとお考えですか。(○印はいくつでも)

【図表 8-1 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由】



◆「男性優位の組織運営になっているから」が6割超え

女性が政策・方針の決定にかかわる役職にあまり進出していない理由について、「男性優位の組織運営になっているから」が61.4%と最も高く、次いで「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」(40.3%)、「家族の支援・協力が得られないから」(34.4%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「男性優位の組織運営になっているから」が最も高くなっている。女性は、「家族の支援・協力が得られないから」が38.4%となり、男性(30.3%)を8.1ポイント上回っている。

<性・年齢別>

男女ともに、すべての年代で「男性優位の組織運営になっているから」が最も高くなっている。また、女性 60 歳以上を除くすべての年代で「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」が上位に入っている。女性は 20 代を除くすべての年代で「家族の支援・協力が得られないから」が上位に入っており、男性は 20 代を除くすべての年代で「女性の能力発揮の機会が不十分だから」が上位に入っている。

【図表 8-2 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	男性優位の組織運営になっているから	62.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	31.1	女性の職員や構成員の人数自体が少ないから	29.5
	30代	男性優位の組織運営になっているから	60.2	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	38.8	家族の支援・協力が得られないから	37.9
	40代	男性優位の組織運営になっているから	62.9	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	50.0	家族の支援・協力が得られないから	46.8
	50代	男性優位の組織運営になっているから	67.4	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	46.7	家族の支援・協力が得られないから	43.7
	60歳以上	男性優位の組織運営になっているから	61.9	女性の能力発揮の機会が不十分だから	38.8	家族の支援・協力が得られないから	36.6
男性	20代	男性優位の組織運営になっているから	45.7	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	42.9	女性の職員や構成員の人数自体が少ないから	40.0
	30代	男性優位の組織運営になっているから	56.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	39.1	女性の能力発揮の機会が不十分だから 女性側の積極性が十分でないから	29.7
	40代	男性優位の組織運営になっているから	53.8	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	35.0	女性の能力発揮の機会が不十分だから	28.8
	50代	男性優位の組織運営になっているから	61.7	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	40.4	女性の能力発揮の機会が不十分だから	39.4
	60歳以上	男性優位の組織運営になっているから	64.5	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	40.9	女性の能力発揮の機会が不十分だから	37.3

<地域別 1>

すべての地域で、「男性優位の組織運営になっているから」が最も高く、次いで「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」、「家族の支援・協力が得られないから」の順となっている。美作県民局管内は「女性の職員や構成員の人数自体が少ないから」も上位に入っている。

【図表 8-3 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由（地域別 1）】

(単位:%)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	男性優位の組織運営になっているから	64.9	男性優位の組織運営になっているから	60.0	男性優位の組織運営になっているから	53.8
2位	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	39.5	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	41.0	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	41.3
3位	家族の支援・協力が得られないから	36.9	家族の支援・協力が得られないから	32.8	家族の支援・協力が得られないから 女性の職員や構成員の人数自体が少ないから	32.5

<地域別 2>

いずれの地域も、「男性優位の組織運営になっているから」が最も高く、中山間地域全域指定市町村(53.6%)がそれ以外の市町村(63.3%)を9.7ポイント下回っている。

【図表 8-4 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由（地域別 2）】

(単位:%)

	中山間地域全域指定市町村		それ以外の市町村	
1位	男性優位の組織運営になっているから	53.6	男性優位の組織運営になっているから	63.3
2位	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	36.8	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	41.1
3位	家族の支援・協力が得られないから	34.7	家族の支援・協力が得られないから	34.7

<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、前回に引き続き、「男性優位の組織運営になっているから」が最も高く、次いで「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」、「家族の支援・協力が得られないから」の順となっている。

【図表 8-5 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由（前回調査との比較）】

(単位:%)

	H26年		H21年		H16年	
1位	男性優位の組織運営になっているから	61.4	男性優位の組織運営になっているから	58.3	男性優位の組織運営になっているから	56.4
2位	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	40.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	41.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	38.7
3位	家族の支援・協力が得られないから	34.4	家族の支援・協力が得られないから	39.5	家族の支援・協力が得られないから	35.6